

岡山県感染症週報

2012 年 第 20 週 (5 月 14 日～5 月 20 日)

◆2012 年 第 20 週 (5/14～5/20) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 18 週 2 類感染症 結核 1 名 (20 代 男)
 第 19 週 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (50 代 男)
 第 20 週 2 類感染症 結核 2 名 (20 代 男 1 名、90 代 女 1 名)
 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名 (70 代 男)

■定点把握感染症の発生状況

- 感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数で、美作地域では感染症発生レベル 3 が継続しています。
 ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、前週より減少しましたが、患者が増加する時期にあります。
 ○インフルエンザは、県全体で 17 名 (定点あたり 0.20 人) となり、さらに減少しました。

1. 感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 7.50 → 7.94 人)。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
2. A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり患者数は、前週より減少しました (定点あたり 1.70 → 1.41 人)。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、冬季と、春から初夏にかけて患者が増加する傾向があり、今後も患者の増加が懸念されます。
3. インフルエンザは、県全体で 17 名 (定点あたり 0.20 人) の報告があり、前週 (定点あたり 0.36 人) よりさらに減少しました。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
 全国の第 19 週 (5/7～5/13) の定点あたり報告数は 0.86 人 (前週 1.52 人) であり、1 人を下まわりました。

【お知らせ】今シーズンにおける定期的なインフルエンザ情報は、今週 (第 20 週) をもって終了いたします。
 2012/2013 年シーズンは、2012 年 11 月頃からの掲載を予定しています。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況*	疾病名	推移	発生状況*
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

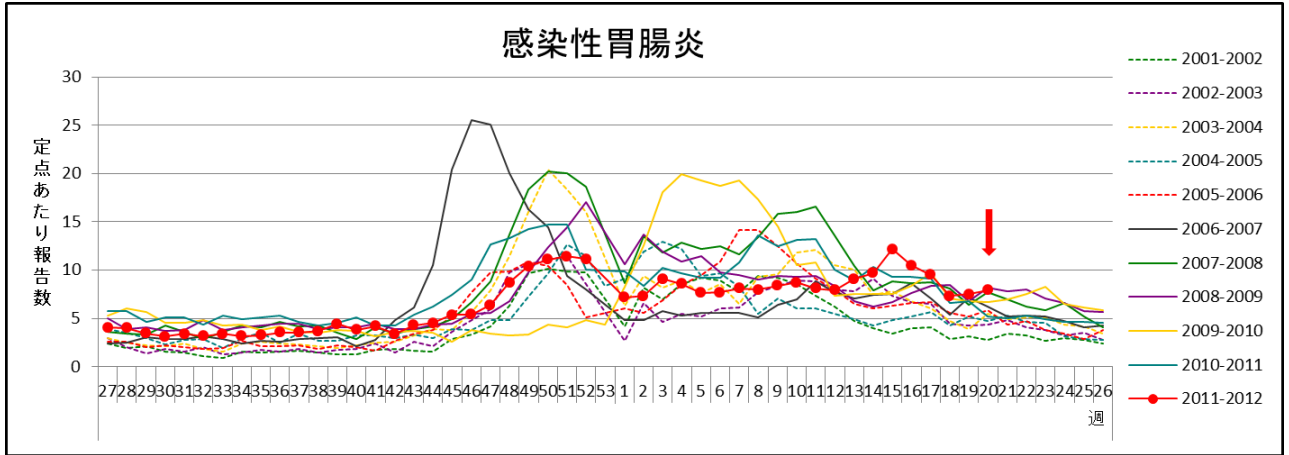
前週からの推移: : 2 倍以上の減少 : 1.1～2 倍未満の減少 : 1.1 未満の増減
 : 1.1～2 倍未満の増加 : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

※今週の流行状況を過去 5 年間と比較し、5 段階で表示しています。

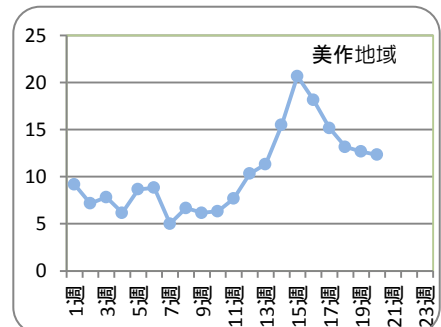
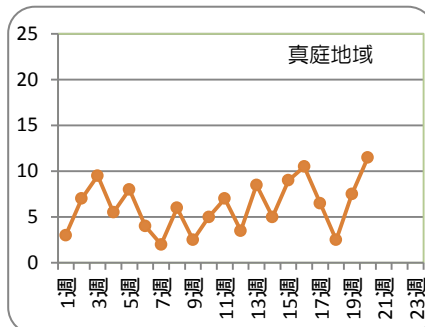
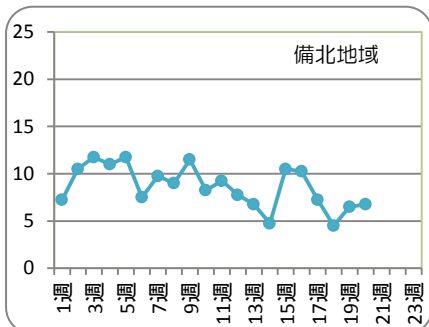
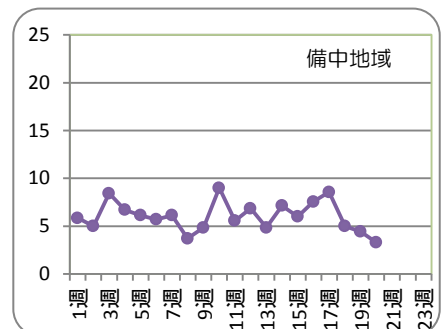
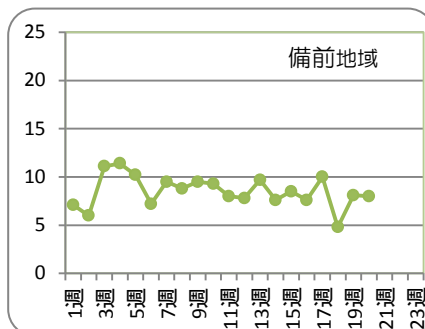
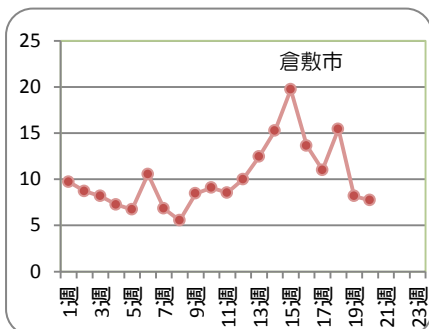
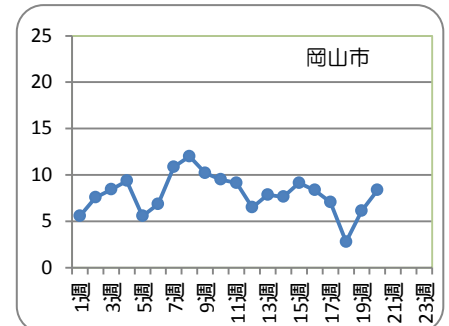
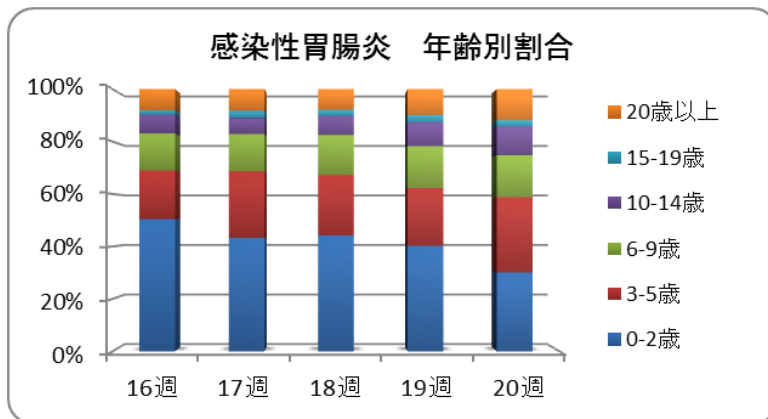
感染性胃腸炎情報 第 20 週 2012 年 5 月 14 日～5 月 20 日

- 岡山県内の患者報告数は 429 名（ 定点あたり 7.94 人 ）で、前週とほぼ同数でした。
- 美作地域では、感染症発生レベル 3 が継続しています。
- 感染性胃腸炎による学級閉鎖が、倉敷市の小学校 2 校でありました（5 月 15 日・17 日）。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週～今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.50 → 7.94 人 ）。地域別では、美作地域（12.33 人）、真庭地域（11.50 人）で患者が多く、美作地域では依然として感染症発生レベル 3 が継続しています。患者は、0-5 歳の低年齢層に多くみられ、この年齢層が全体の約 60% を占めています。今シーズンは、例年患者が増加する冬に大きな流行はなかったものの、4 月以降、過去 10 年の同時期に比べ、患者数の多い状態で推移しています。手洗いを励行するなど、ひきつづき感染予防に努めましょう。

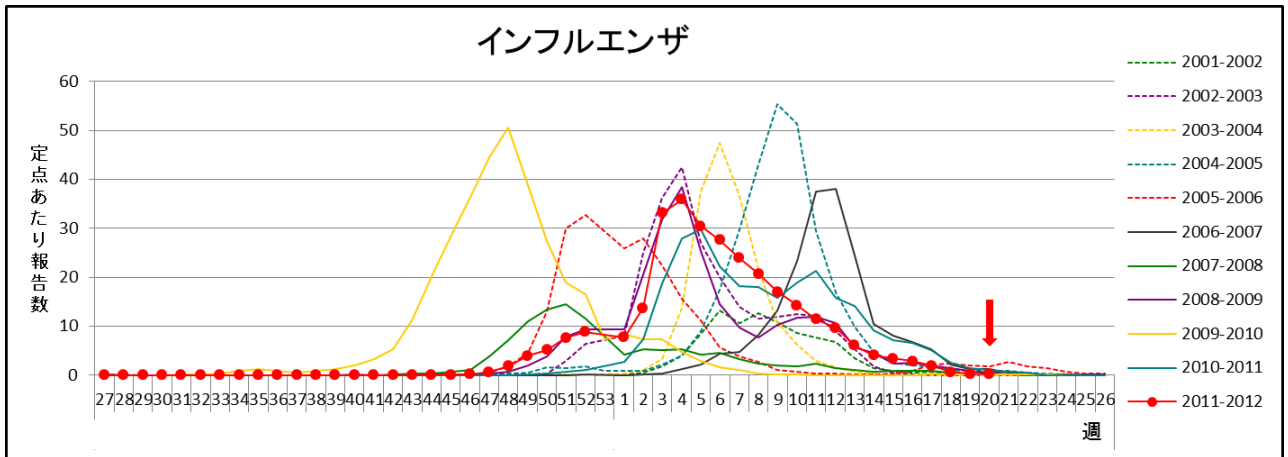


インフルエンザ情報 第 20 週 2012 年 5 月 14 日～5 月 20 日

【お知らせ】今シーズンにおける定期的なインフルエンザ情報については、今週（第 20 週）をもって終了いたします。
2012 / 2013 年シーズンは、2012 年 11 月頃からの掲載を予定しています。

➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 17 名（ 定点あたり 0.20 人 ）となり、患者数は減少しました。
- インフルエンザとみられる学級閉鎖が、吉備中央町（5/14）・倉敷市（5/17）の小学校各 1 校でありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

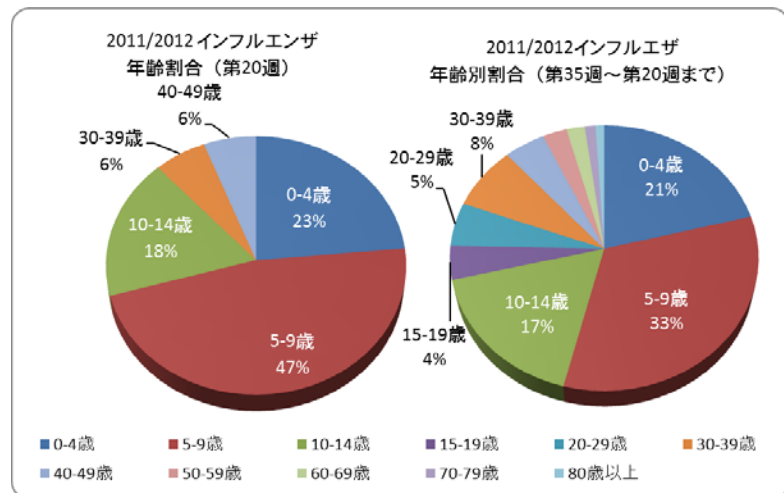
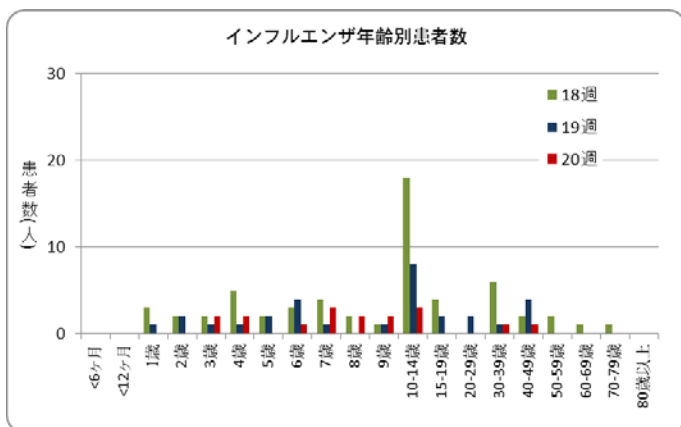
インフルエンザ患者数は 17 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 0.20 人 ）となり、前週（ 30 名 定点あたり 0.36 人 ）より減少しました。地域別では、倉敷市、備中地域、備北地域、真庭地域で患者発生があるものの、県内全地域で定点あたり 1 人を下まわり、今シーズンの流行は終息したと考えられます。

インフルエンザの流行は終息したと思われませんが、まだ、患者発生のある地域もあります。また、日常における感染予防として、ひきつづき外出後の手洗い・うがいを励行するなど感染予防に努めましょう。

[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

1. 年齢別患者発生状況 第 20 週（ 5/14～5/20 ）

第 20 週、患者の年齢割合は 5-9 歳が全体の 47% で最も多く、0-4 歳が 23%、10-14 歳が 18% の順でした。幼稚園児、小学生、中学生に該当する年齢層が多くを占めています。

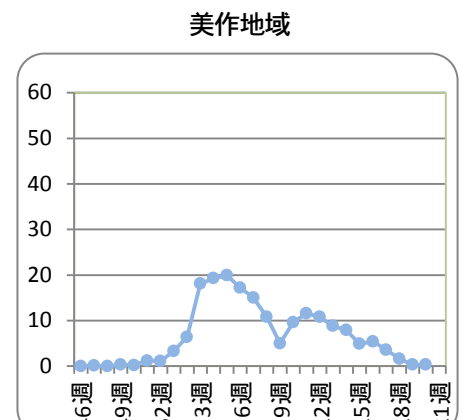
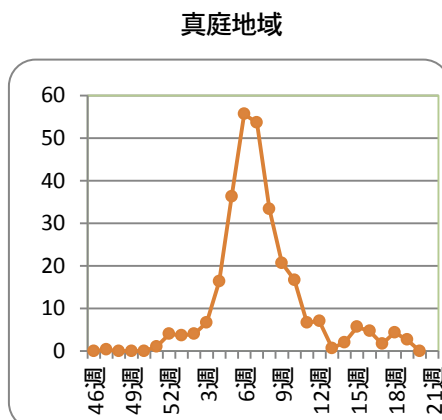
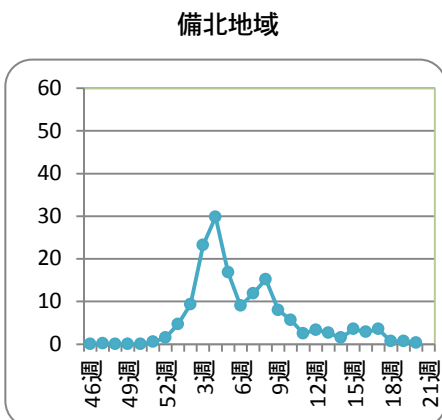
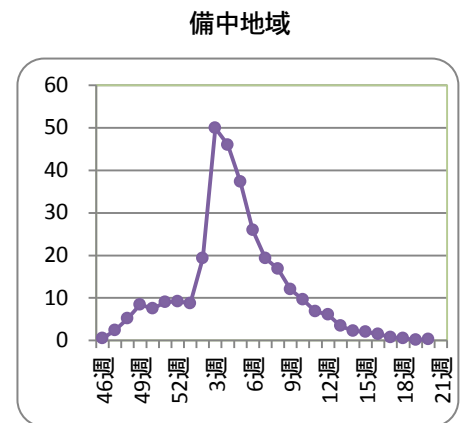
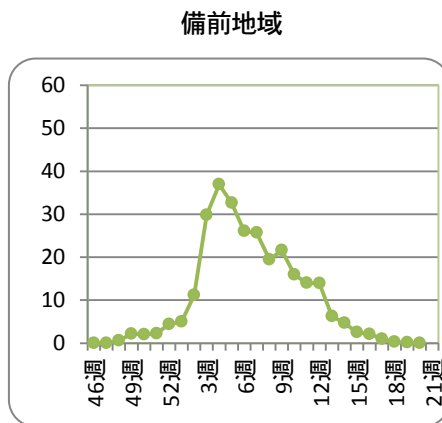
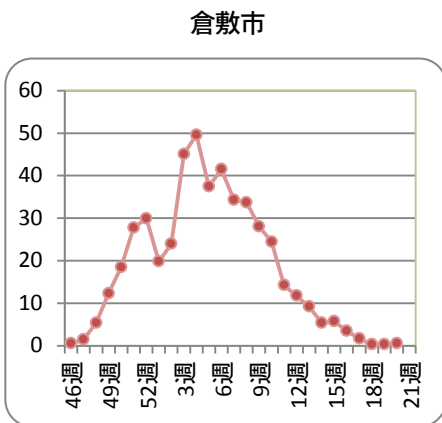
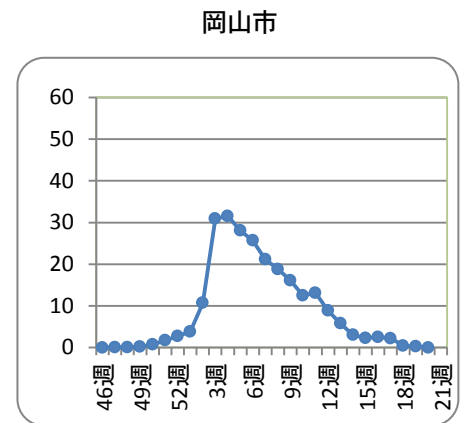
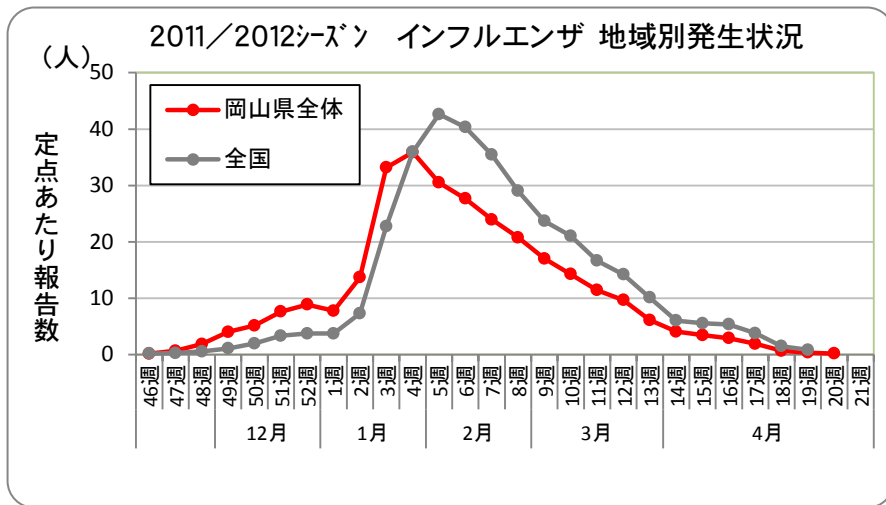


2. 地域別発生状況

第20週 (5/14~5/20) 前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	17	↘	備 中	患者数	3	↗
	定点あたり	0.20			定点あたり	0.25	
岡山市	患者数	—	↘	備 北	患者数	2	↘
	定点あたり	—			定点あたり	0.33	
倉敷市	患者数	9	↗	真 庭	患者数	—	↘
	定点あたり	0.56			定点あたり	—	
備 前	患者数	—	↘	美 作	患者数	3	↗
	定点あたり	—			定点あたり	0.30	

【記号の説明】 前週からの推移: ↘ 2倍以上の減少 ↙ 1.1~2倍未満の減少 ↗ 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加

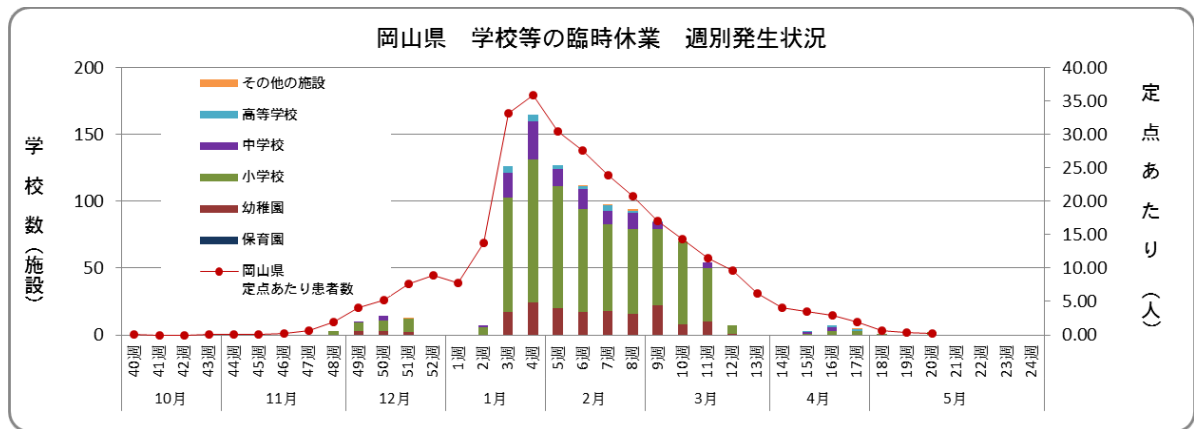


➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第20週（5/14～5/20）

第20週、インフルエンザとみられる学級閉鎖が、吉備中央町・倉敷市の小学校各1校でありました。

第20週までの合計は、有症者数15,597名、うち欠席者数11,453名、施設数はのべ1,004施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業（健康推進課ホームページ）](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第20週（5/14～5/20）

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	14	15,600	7	11,453	2	1,004	0	42	0	287	2	675	H23.10.31
岡山市	0	6,596	0	4,606	0	387	0	4	0	67	0	316	H23.12.15
倉敷市	8	3,700	3	2,767	1	221	0	7	0	39	1	175	H23.10.31
備前地域	6	1,992	4	1,614	1	152	0	6	0	68	1	78	H23.12.5
備中地域	0	1,410	0	1,184	0	116	0	10	0	46	0	60	H23.11.30
備北地域	0	313	0	227	0	29	0	3	0	12	0	14	H24.1.16
真庭地域	0	537	0	341	0	33	0	7	0	22	0	4	H24.1.13
美作地域	0	1,052	0	714	0	66	0	5	0	33	0	28	H24.1.16

2. 臨時休業施設数の内訳 第20週（5/14～5/20） 第20週：2施設 累計：1,004施設

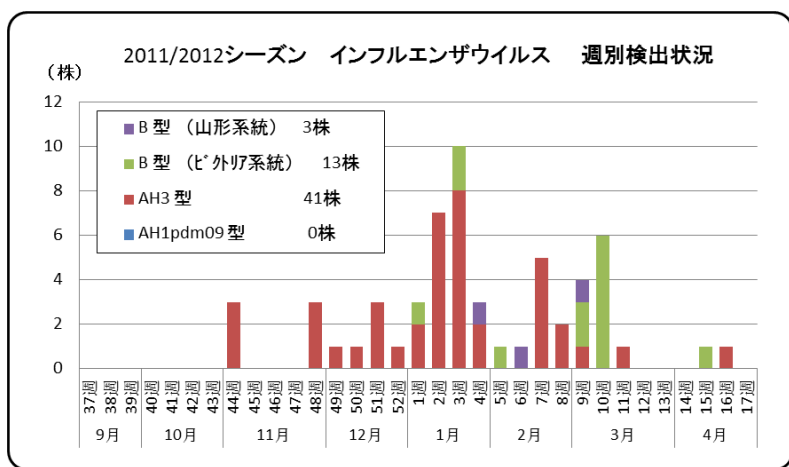
	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	—	162	2	698	—	114	—	25	—	5

➤ インフルエンザウイルス検出状況 第20週（5/14～5/20）

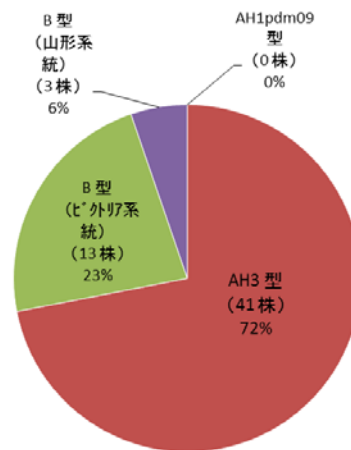
第9週と第16週に採取された散発事例からAH3型が各1株、第15週に採取された散発事例からB型（ビクトリア系統）1株が検出されました。今シーズン県内では、AH3型が41株、B型（ビクトリア系統）が13株、B型（山形系統）が3株検出されています。

これまで全国で検出されたインフルエンザウイルスの累計は、AH3型の割合が最も多く74.2%、B型が25.6%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。全国の2012年第14～第18週の5週間では、B型が最も多く検出されています。（[国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン](#)）

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス AH3 型	第9週	2012年3月1日	井原市	幼児	女	
インフルエンザウイルス B 型	第15週	2012年4月9日	里庄町	中学生	女	ビクトリア系統
インフルエンザウイルス AH3 型	第16週	2012年4月19日	岡山市	40歳代	男	



2011/2012シーズン 岡山県インフルエンザウイルス 型別検出割合 (n = 57)



➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第20週（5/14～5/20）（県内基幹定点5医療機関による報告）

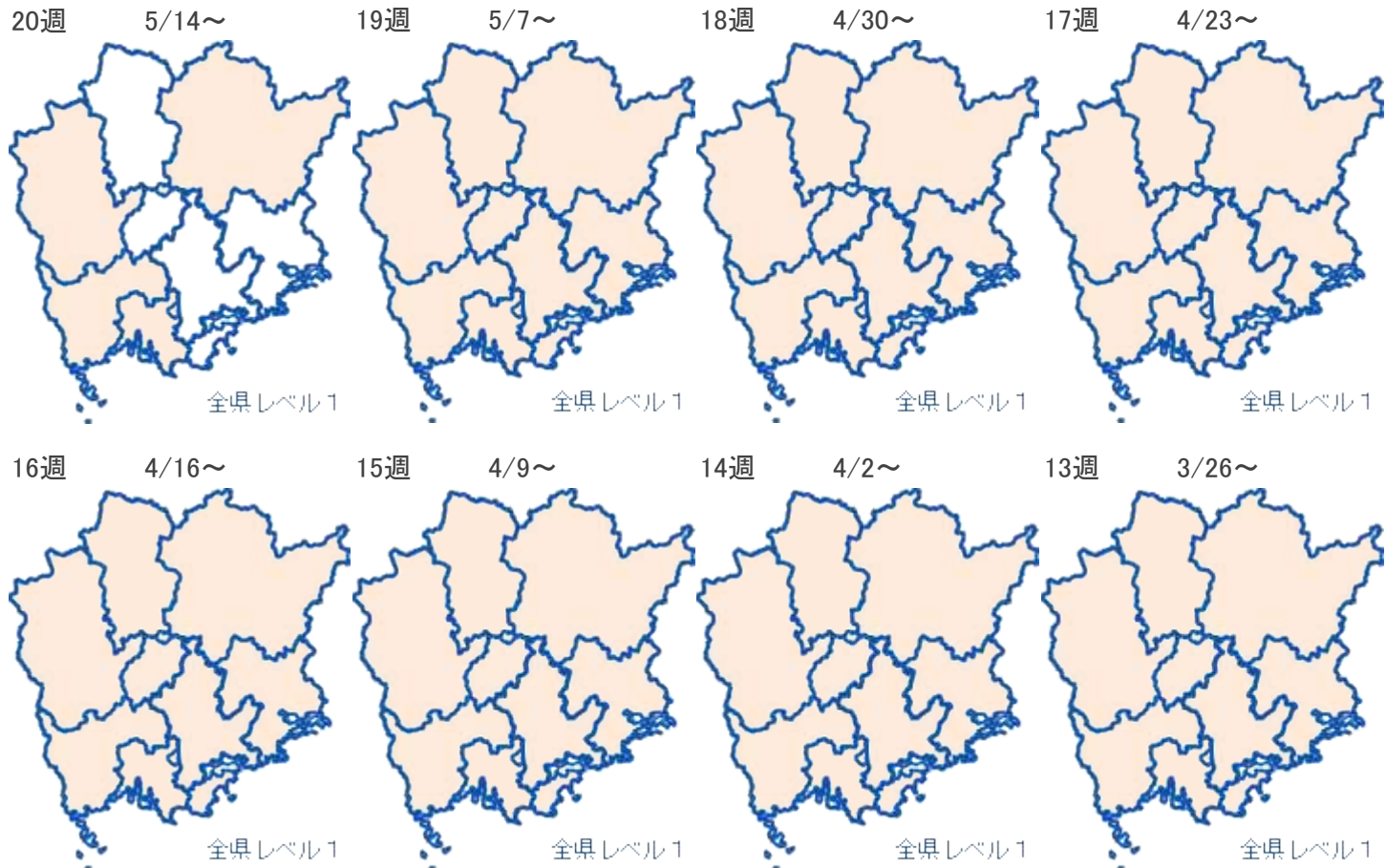
第20週、インフルエンザによる入院患者はありませんでした。

これまでの入院患者数は93名であり、4歳以下の幼児（34%）と、70歳以上の高齢者（37%）が多くを占めています。

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

* 重複あり

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	11	21	13	3	1	1	2	1		6	13	21	93
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部MRI検査(予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査(予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	10	12	9	2		1	2	1		5	7	19	68



インフルエンザ

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
30	10	10 以上 30 未満		0 < 10 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2012年 20週 (2012/05/14～2012/05/20)

2012年5月23日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	17	0.20	-	-	9	0.56	-	-	3	0.25	2	0.33	-	-	3	0.30
RSウイルス感染症	9	0.17	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
咽頭結膜熱	12	0.22	4	0.29	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	1.41	28	2.00	25	2.27	3	0.30	3	0.43	-	-	1	0.50	16	2.67
感染性胃腸炎	429	7.94	117	8.36	85	7.73	80	8.00	23	3.29	27	6.75	23	11.50	74	12.33
水痘	71	1.31	17	1.21	20	1.82	8	0.80	11	1.57	4	1.00	1	0.50	10	1.67
手足口病	2	0.04	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	0.24	9	0.64	-	-	1	0.10	-	-	3	0.75	-	-	-	-
突発性発疹	28	0.52	16	1.14	3	0.27	7	0.70	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
百日咳	3	0.06	-	-	1	0.09	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	-	-	1	0.09	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	22	0.41	9	0.64	8	0.73	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 20週 (2012/05/14～2012/05/20)

2012年5月23日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	17	0.20	-	-	9	0.56	-	-	3	0.25	2	0.33	-	-	3	0.30
咽頭結膜熱	12	0.22	4	0.29	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	1.41	28	2.00	25	2.27	3	0.30	3	0.43	-	-	1	0.50	16	2.67
感染性胃腸炎	429	7.94	117	8.36	85	7.73	80	8.00	23	3.29	27	6.75	23	11.50	74	12.33
水痘	71	1.31	17	1.21	20	1.82	8	0.80	11	1.57	4	1.00	1	0.50	10	1.67
手足口病	2	0.04	1	0.07	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	0.24	9	0.64	-	-	1	0.10	-	-	3	0.75	-	-	-	-
百日咳	3	0.06	-	-	1	0.09	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	-	-	1	0.09	1	0.10	1	0.14	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	22	0.41	9	0.64	8	0.73	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	0.17	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第20週 2012/05/14~2012/05/20)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	17	-	-	-	-	2	2	-	1	3	2	2	3	-	-	1	1	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	9	1	3	1	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	1	3	5	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	-	-	1	7	9	13	7	9	6	10	7	6	-	1
感染性胃腸炎	429	9	26	49	45	45	39	39	19	18	17	15	47	10	51
水痘	71	-	2	7	19	13	7	10	3	4	1	3	1	-	1
手足口病	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	13	-	-	-	4	3	1	1	2	-	1	-	-	-	1
突発性発疹	28	-	8	18	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	22	-	-	1	1	3	6	3	1	2	2	2	1	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

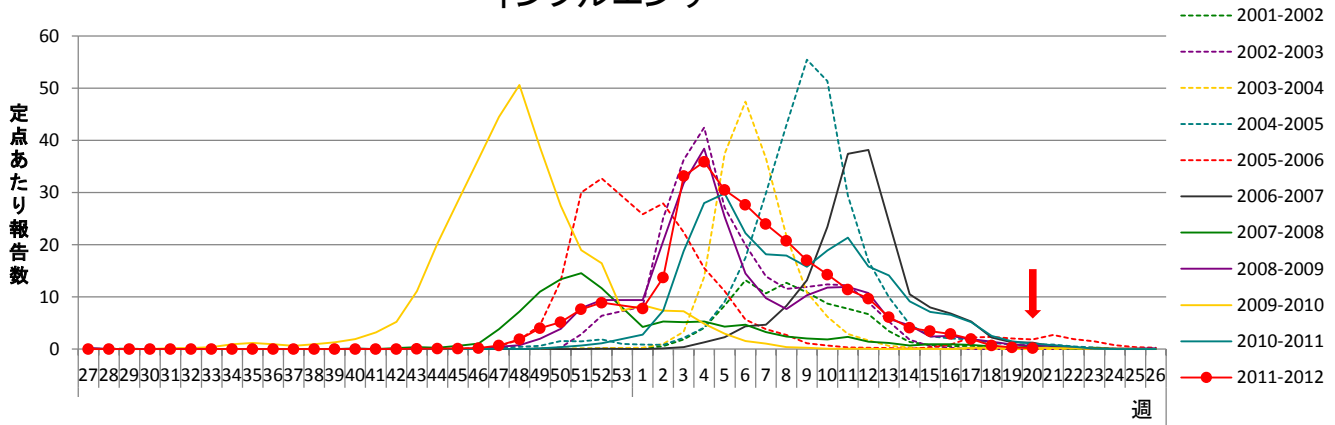
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

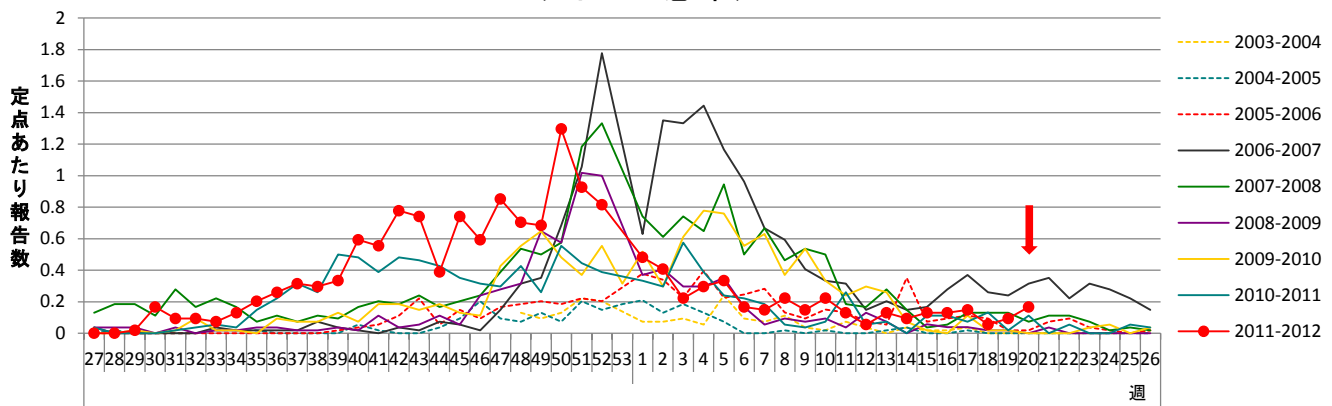
2012年 20週

分類	疾病名	2012			疾病名	2011			疾病名	2012			2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年			
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	3	141	557	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-	-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	3	67	-	-	-
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-	-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3	-	-	-
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1	-	-	-
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	-	8	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	1	5	11	ウイルス性肝炎*3	-	3	9	急性脳炎*4	-	1	3	-	-	-
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1	-	-	-
	後天性免疫不全症候群	-	5	15	ジアルジア症	-	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	2	9	破傷風	-	-	3	-	-	-
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	風しん	-	-	1	-	-	-
	麻しん	-	5	4		-	-	-		-	-	-	-	-	-

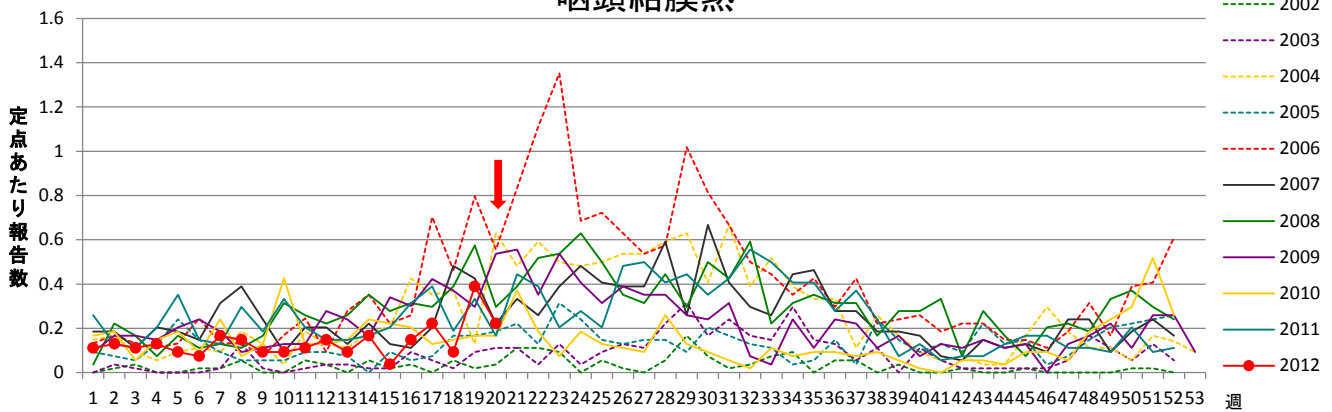
インフルエンザ



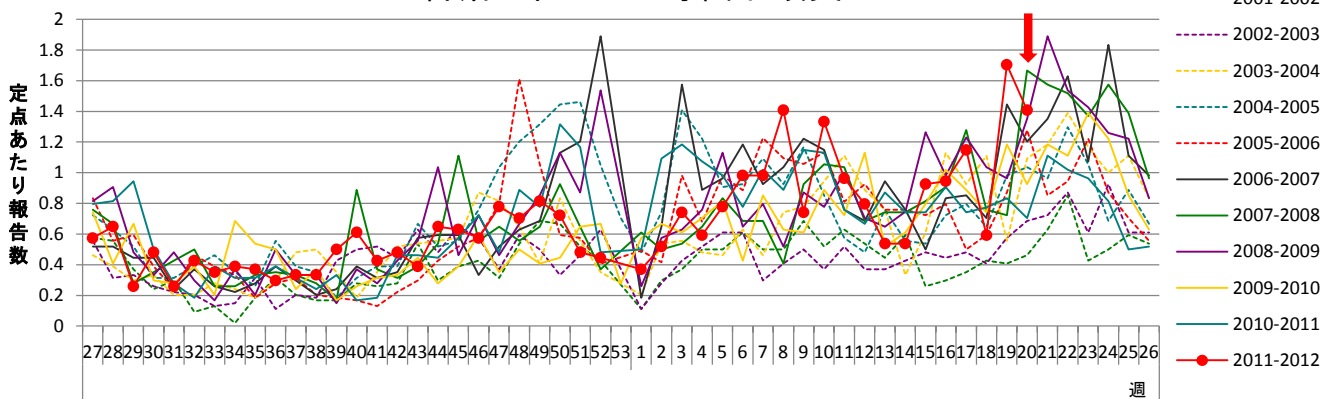
RSウイルス感染症



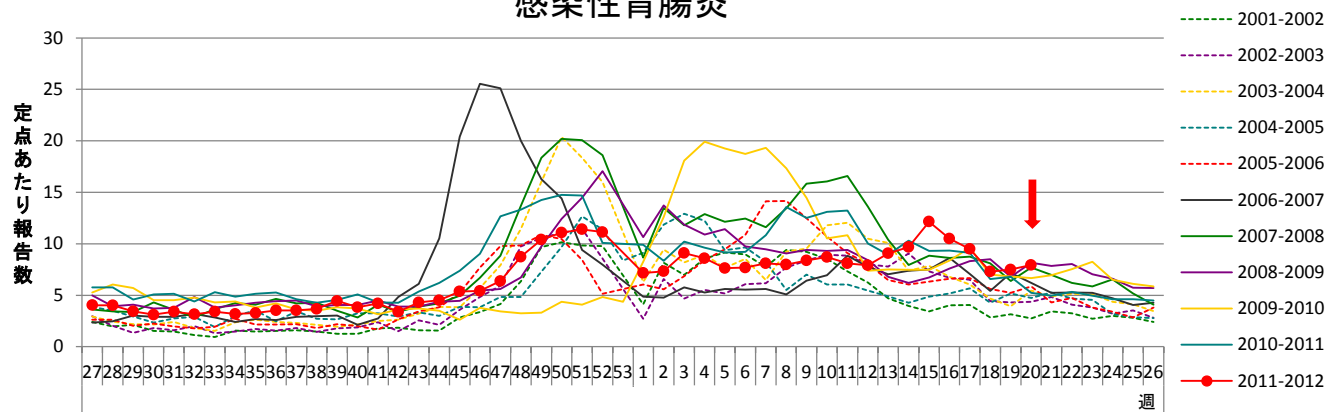
咽頭結膜熱



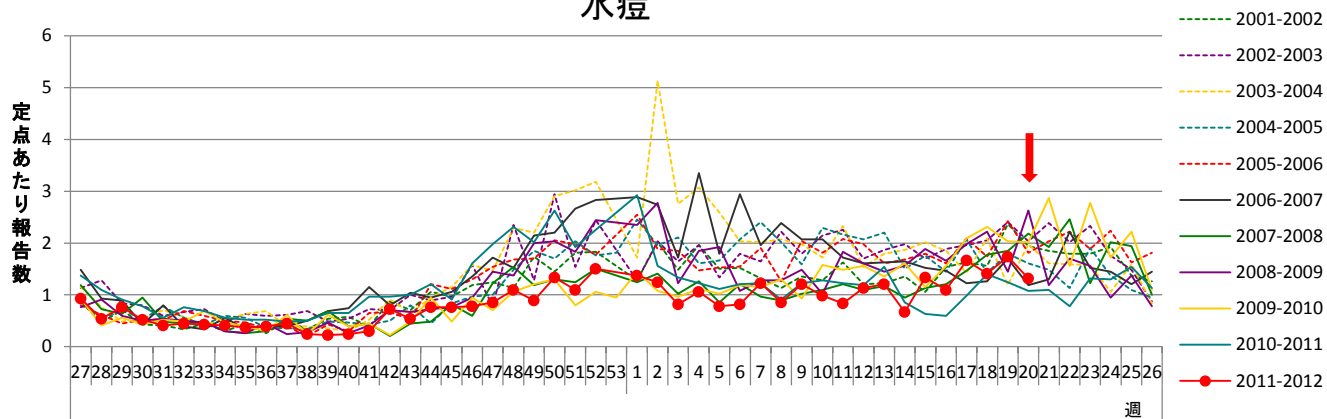
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



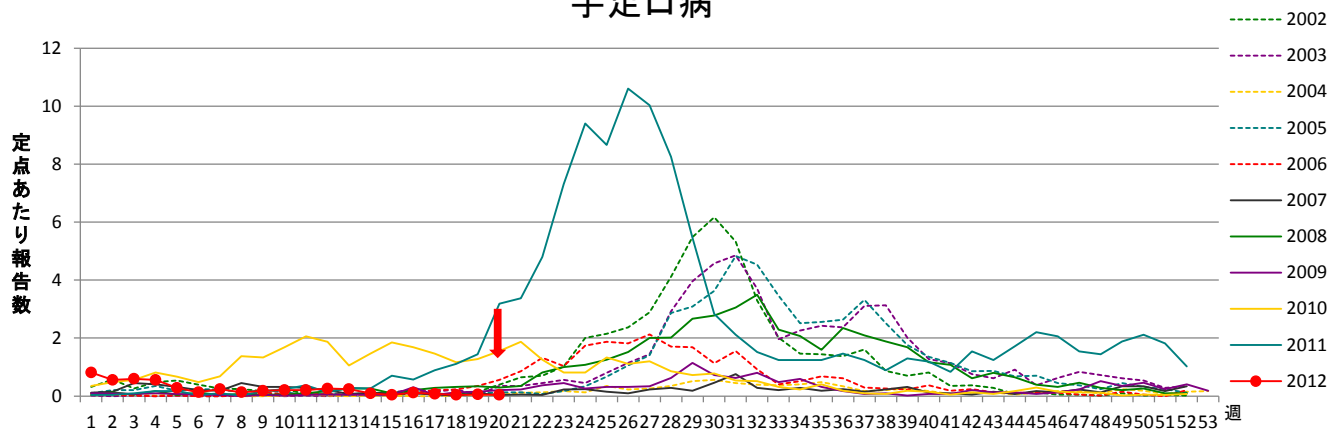
感染性胃腸炎



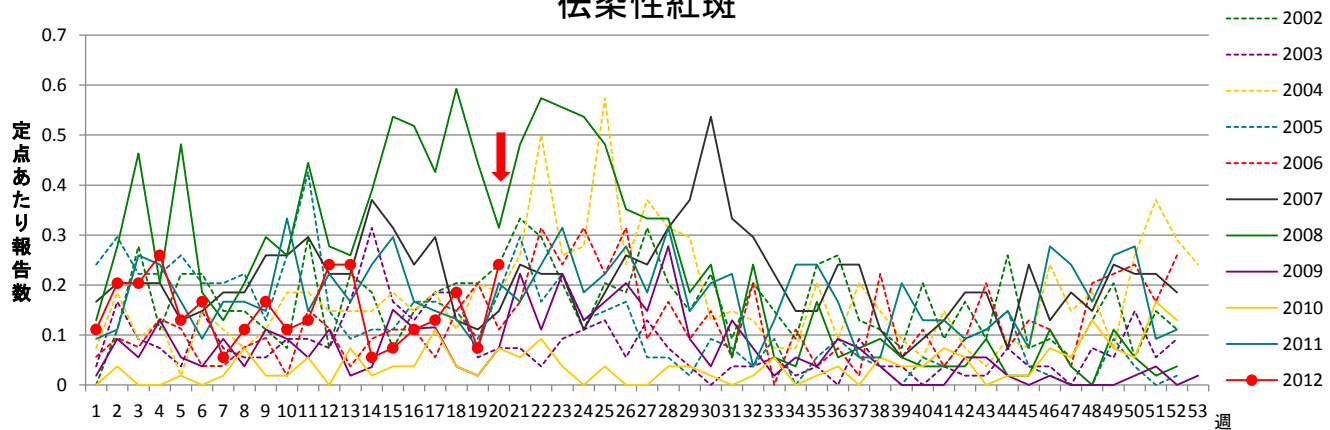
水痘



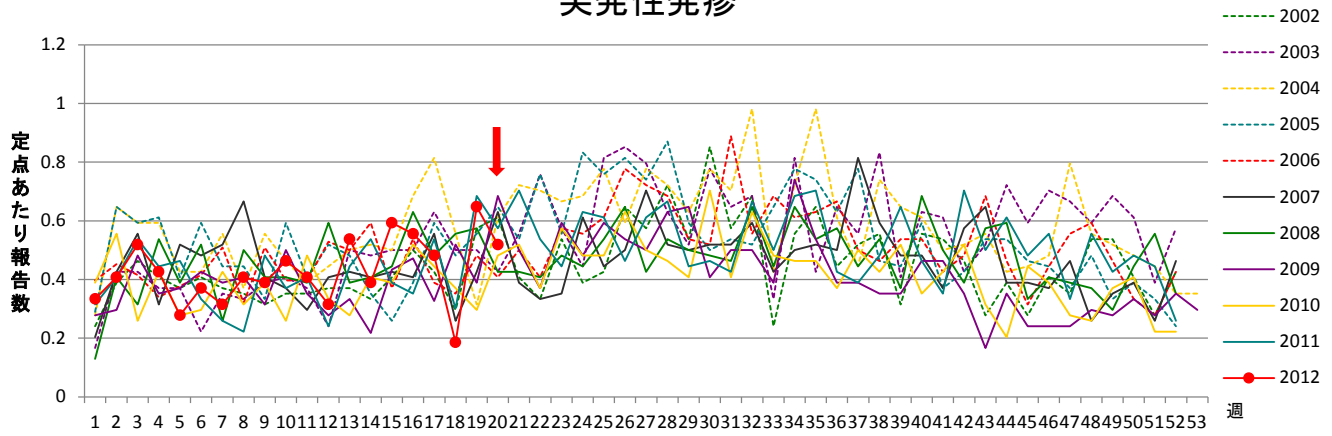
手足口病



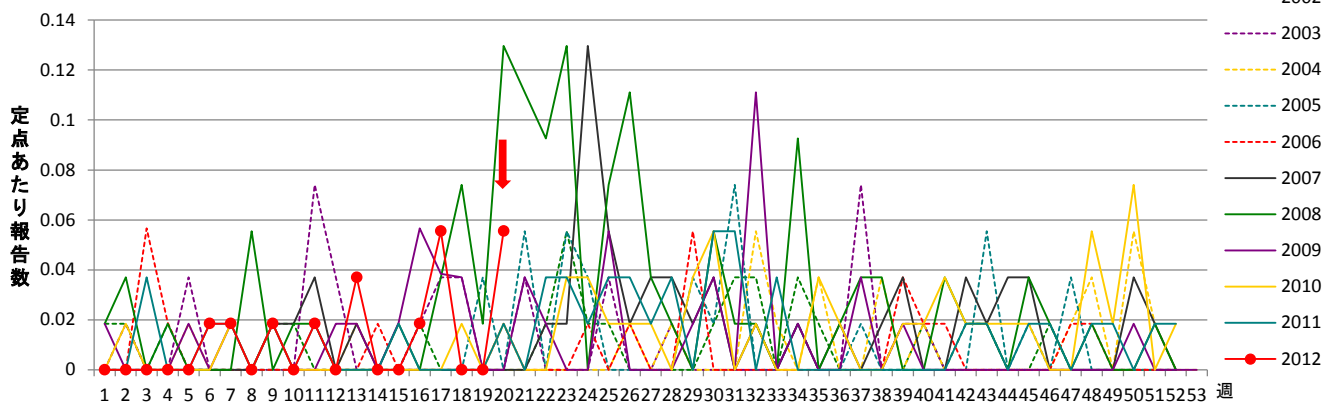
伝染性紅斑



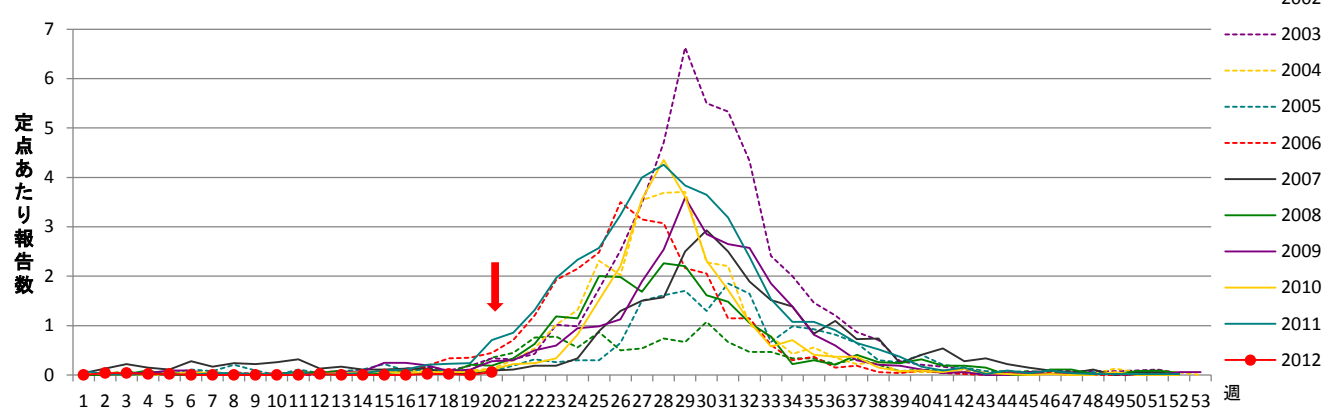
突発性発疹



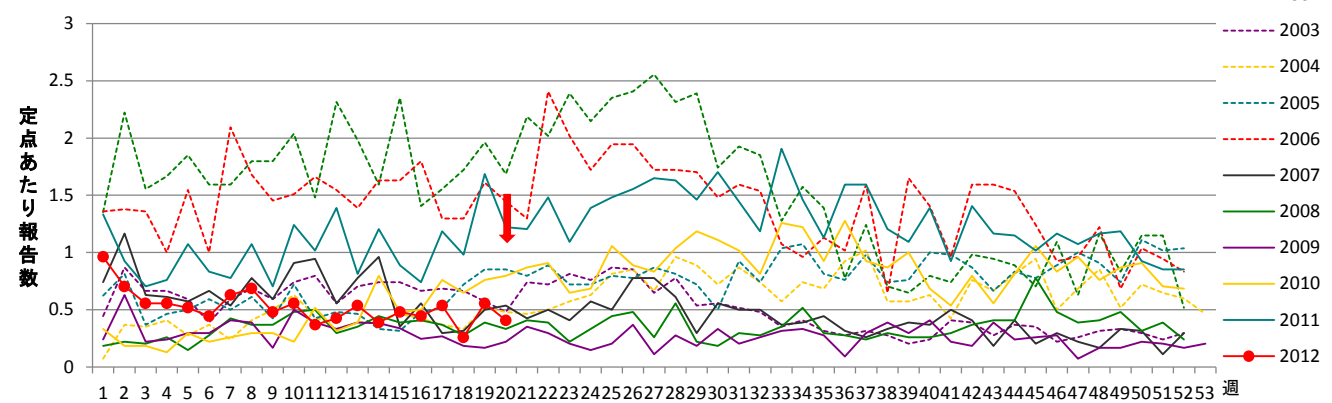
百日咳



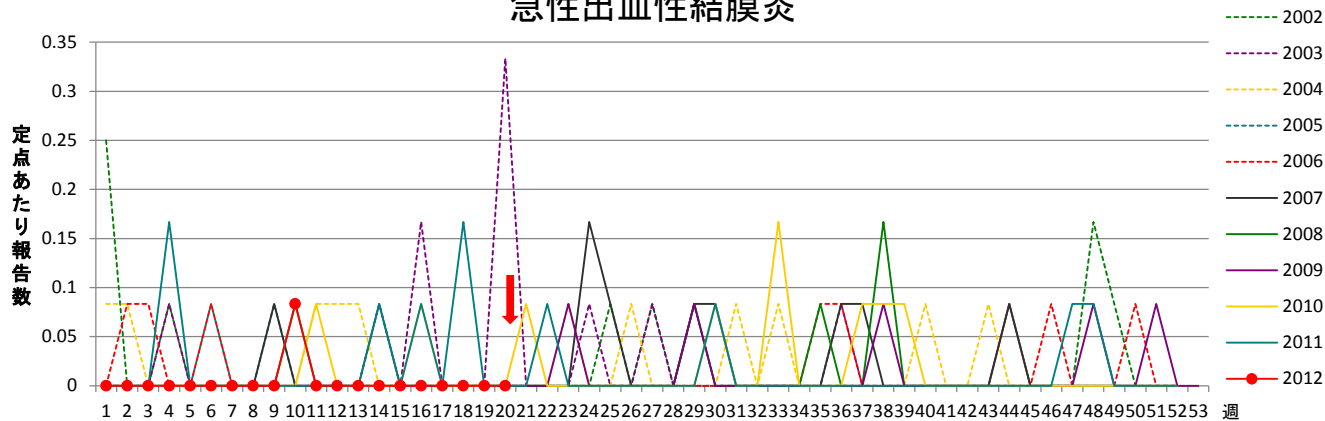
ヘルパンギーナ



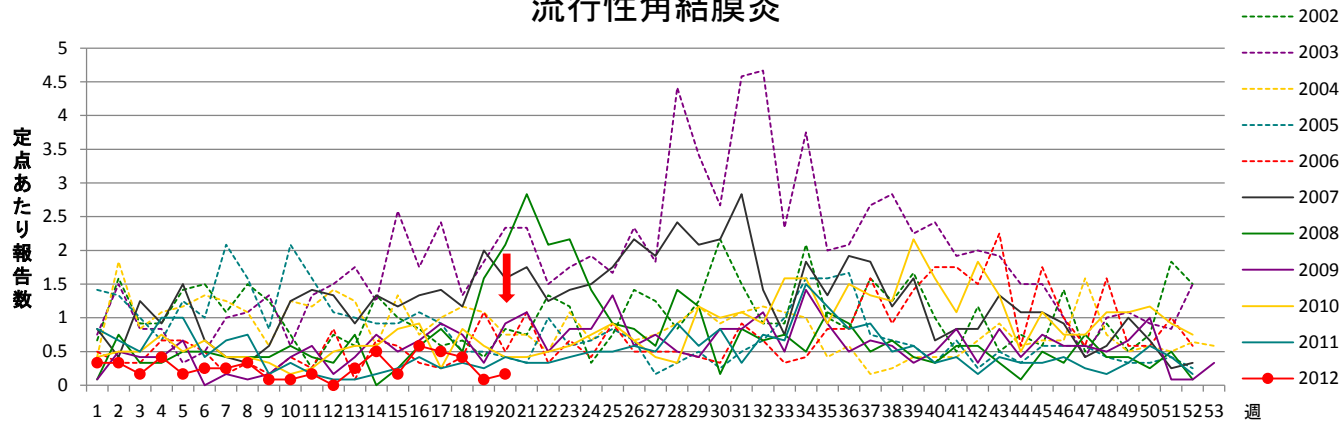
流行性耳下腺炎



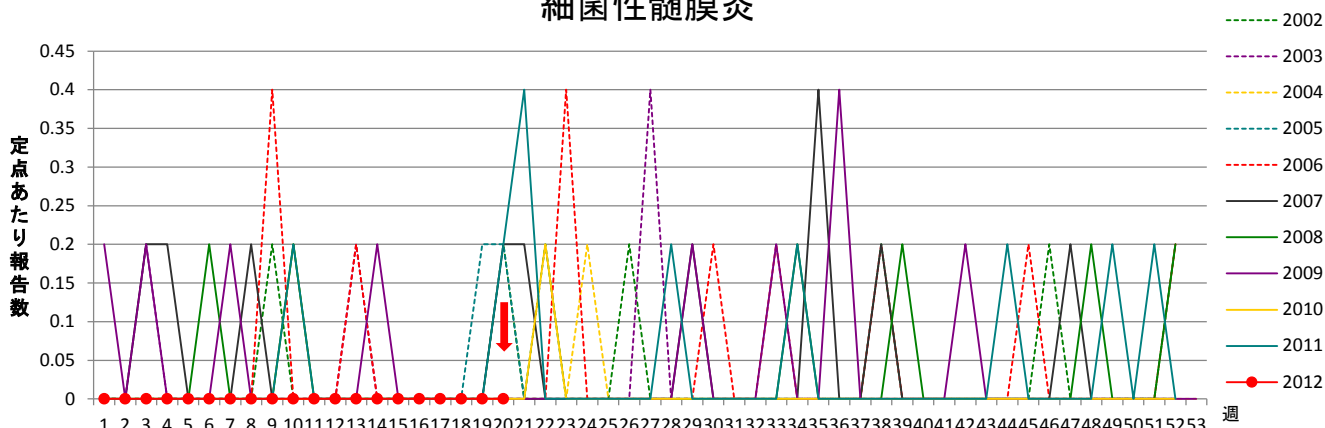
急性出血性結膜炎



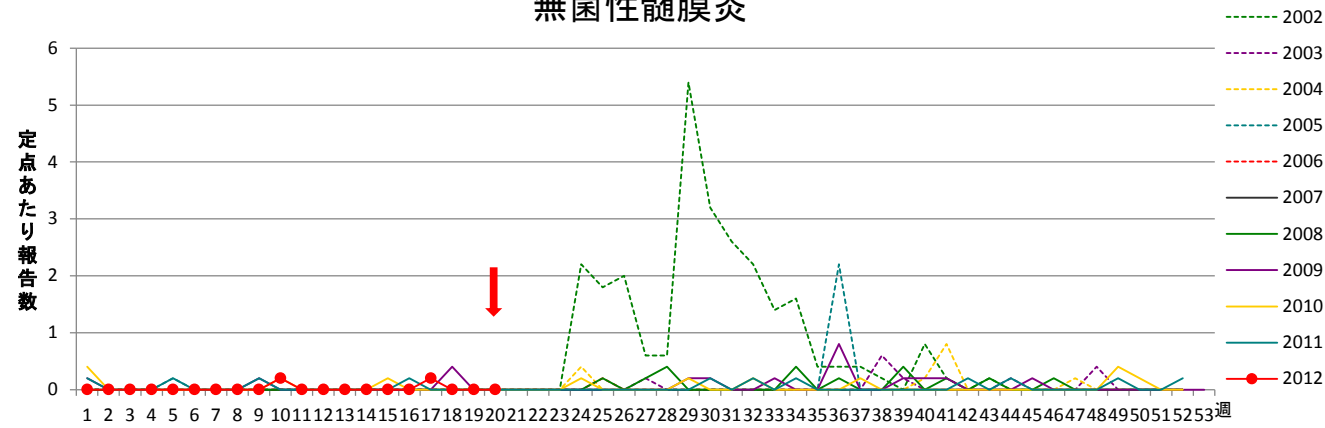
流行性角結膜炎



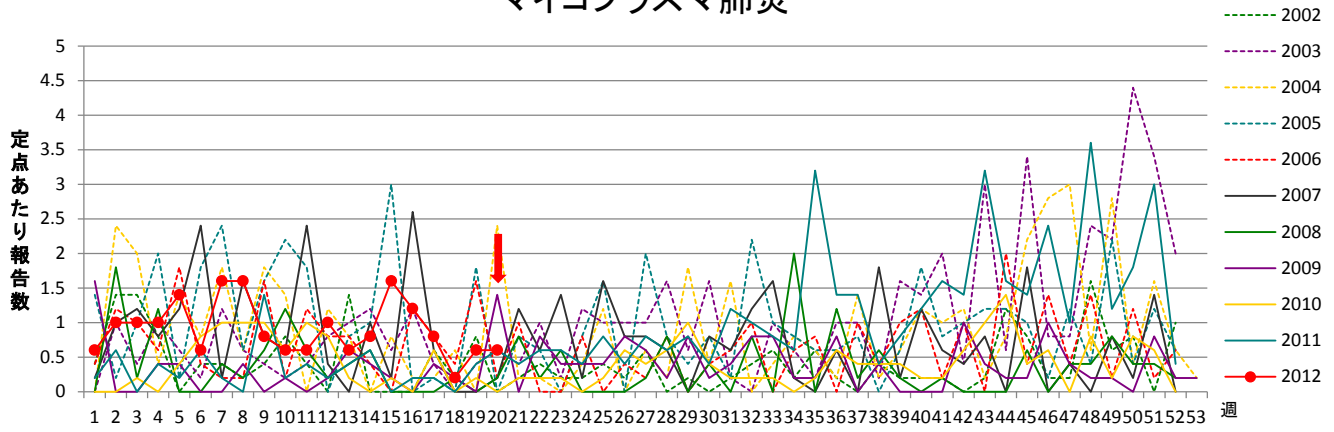
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

